

第6回八千代市都市マスタープラン策定会議議事録

会議名・・・第6回八千代市都市マスタープラン策定会議

会 場・・・市役所 別館2階 第1・2会議室

日 時・・・令和5年3月1日（水） 午後1：30～午後2：06

出席者・・・【委 員】

北原委員，藤井委員，関野委員，周郷委員，村田委員，中田委員，
渡邊委員，高宮委員，出竹委員，浅倉委員，鈴木委員

【事 務 局】

若林都市整備部次長，赤城都市整備部次長兼都市計画課長事務取扱い，
平野副主幹，石橋主査補，三星主任主事，葛貫主事
朝日航洋株式会社 社員2名

公開・非公開・・・公開

傍聴者・・・1名

議題・・・①八千代市都市マスタープラン地域別構想（案）について

②八千代市都市マスタープラン（素案）について

議事・・・以下のとおり

－開会－

－公開・非公開の報告－

－出席者紹介－

－事務局紹介－

－資料確認－

－議案の審議－

（北原議長）

皆さんこんにちは。北原です。年度末の大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。議事の進行について、皆様のご協力を得ながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは議題に先立って、事務局から今後のスケジュールについて説明があるということです。事務局お願いします。

(平野副主幹)

—今後のスケジュールについて、「(参考資料3) 八千代市都市マスタープラン策定スケジュール(案)」に基づき説明—

(北原議長)

ありがとうございました。皆さん特によろしいでしょうか。はい。それでは、議題に入りたいと思います。議題の1 八千代市都市マスタープラン地域別構想(案)について、事務局から説明をお願いします。

(赤城次長)

—議題①に関して、「(参考資料1) 第5回策定会議のご意見・ご質問と市の考え方について」に基づき説明—

(北原議長)

ありがとうございます。事務局から説明いただきましたが、八千代市都市マスタープラン地域別構想の案について、参考資料1の説明に関するご意見やご質問がありましたらお願いいたします。いかがですか。

今日追加で説明していただいた部分も含めて、この内容で進めさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

—(異議なしの声)—

(北原議長)

ありがとうございます。それでは、議題1の八千代市都市マスタープラン地域別構想(案)について、続けて事務局から説明をお願いします。

(赤城次長)

—議題①に関して、「(参考資料2) 八千代市都市マスタープラン地域別構想(案)に寄せられたご意見と市の考え方について」に基づき説明—

(北原議長)

どうもありがとうございました。事務局から説明をいただきました。八千代市都市マスタープラン地域別構想(案)について、参考資料2の説明に関するご意見、ご質問ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

それでは、この内容で進めさせていただいてよろしいですか。

—(異議なしの声)—

(北原議長)

ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

続きまして、議題の2八千代市都市マスタープラン（素案）について、事務局から説明をお願いします。

(赤城次長)

—議題②に関して、「(資料1)八千代市都市マスタープラン（素案）」に基づき説明—

(北原議長)

ありがとうございました。まちづくり推進の方策について今日のご説明をしていただきましたが、八千代市都市マスタープラン素案全体について、ご意見、ご質問がありましたらご発言をお願いします。いかがでしょうか。藤井委員、お願いします。

(藤井委員)

ご説明ありがとうございました。

この検討会が7月まで延び、パブリックコメントがこの後あるということで、それでちょっとお話なんですけども、千葉県の区域マスタープランの見直しといいますか改定、これに合わせてという形で本日から1ヶ月間、千葉県都市づくりビジョンというものが、パブリックコメントという形で開示されてるんですね。

その中身を見て、実際にこの八千代市の都市マスタープランの改定の話と、そのパブコメが重なっていったときに、特にどの辺がかぶってくるのか、或いは網羅しているのか、足りないのか。ちょっと今日だったものですからまだ十分に見切れてはいないんですが。県の区域マスタープランは概ね30年、それに対して自治体は20年、これは基本的に問題はないというふうには考えています。その中で一つ、かなり県で打ち出しているのが、3Dのデジタル都市といったような表現、これを県の計画の中に位置付けています。

八千代市は、それこそプラトールというものを使ってですね、柏市に次いで千葉県では2番目に、この3D都市モデルを検討してる自治体なので、もちろん今の協働のところにも書いてあるんですけど、それは3Dをやりますよというだけの話で、ここはせっかくですのでパイオニア的なもしくはリーディングシティーみたいな形の中で、それを率先していきますぐらいの迫力を持って、ちょっと追加していただきたいなという気がしています。

それともう一つ、NPOを含めてという協働のまちづくりの形の中で、ある意味広めていきますよっていうキーワードがあるんですが、千葉県の方を見てみると、子どもたちっていうキーワードがそこの中にも組み込まれてるんですね。で、子どもたちの都市づくりを学ぶ機会を提供しますという。これはパブコメのまだ案の段階ですから確実に盛り込まれるかどうかというのは確約ではないんですが、市民が参加する、コアメンバーを育成するだけではなくて、ある意味都市づくりをするメンバーを育てるというキーワード、こういったところまで区域マスタープランの中に位置づけようとしてると。八千代市もある意味キーワードでは入ってるんですね。でも入ってるんだけどそこまで一歩踏み込んでいないと。

バリアフリー基本構想とかそういったものを策定するにあたっては、今、小中学校まで巻き込んだ教育啓発特定事業、こういったものを組み込むようなことも国交省から、ある意味ノルマ化されてきています。今、まちづくりとか都市づくりに、子どもとの関係性が極めて重要だという視点が入ってるので、その辺をもう少し書き込んだ方がいいかなという気がしています。

あともう1点なんですが、千葉県の中にはDXも、これはもう聞き飽きた言葉かもしれないんですが、都市づくりの中のDX, ICT, AI等の新技術を民間活力を使って導入していきます展開していきますっていうキーワードもこれも入っています。

どこまで住民との協働というキーワードの中で切り込んでいくのか、あるいは民間活力を活用するという仕組みなのか、そこはちょっと位置付けが難しいんですが、少しその辺、その新たな技術を活用して都市といったものを展開していくのか。

それこそ、プラトーンを実践している八千代市だからこそできることってのはきっとあるかなというふうに思いますので、その辺ちょっと事務局の方で、今私は全くノーアイデアで話をするのは非常に恐縮なんですが、ご検討していただくといいかなというふうに思っています。

以上でございます。

(北原議長)

どうもありがとうございます。大変有意義なご意見いただいたと思いますが、事務局いかがですか。

(赤城次長)

まず一つ目の3D都市モデルなんですが、もちろん八千代市やってますので、表現としてもう一步踏み込んでいけるようなものができればと思いますので検討させていただきます。

二つ目の子どもについてなんですが、もともと私たちもこの計画を作るにあたり、アンケートを高校生まで広げて、子どもたちの意見ということでやりましたので、その辺の文言についても、どういうふうに入れられるかということでぜひ検討してみたいと思います。

三つ目のDXについてなんですが、こちらがやっぱりなかなか難しいんですが、総合計画含めて全体的にどういうふうに入れればいいのかということで検討していきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

(北原議長)

藤井委員よろしいでしょうか。

(藤井委員)

はい。

(北原議長)

どうもありがとうございます。他にご意見ご質問いかがでしょうか。

(藤井委員)

他に無いようであればもう一つ。

(北原議長)

それでは藤井委員お願いします。

(藤井委員)

私ばかり話して大変恐縮なんですけど、カーボンニュートラルってキーワードが前編の方にあるんですけど、市としてそれを押し出すつもりがあるのであれば、もっと後半の方にも書いていいかなというような気がしています。

それともう1点なんですけど、これ勝手な解釈なんですけど、102ページのところの協働のまちづくりのイメージ、こういう書き方はもちろん私も他の自治体さんで実際にマスタープラン関わったりする時によく見る図なんですけど、その時に、市民の役割のキーワードの中で、まちづくりの担い手としての役割とともに地域課題の解決に向けた主体的取組が期待されますということ、期待されますということだからいいんだとは思いますが、主体的に取り組めないような地域がポツポツと、今いろんな地域で出始めてると。そうした時に、見捨てるのかっていうことを言われた自治体さんがあります。

そういった面では、もちろん主体的な取組というのが都市づくりの中に不可欠ではあると私も認識はしてるんですけど、そういった解釈をされてしまっては本来のこのマスタープランの意味がないかなという気もします。まあ、そう感じるのは私だけかもしれませんが、直接的に言われたものですからちょっと感じてるところがあるので。あまり気にしないでいいということであればこのままでもいいし、もう少し表現をやわらかくすることであればやわらかくしていただく。この辺は事務局でお考えいただければありがたいかなと。他市の事例としてちょっとご紹介しました。

以上でございます。

(北原議長)

どうもありがとうございます。事務局、今、何かありますか。

(赤城次長)

まず、カーボンニュートラルについては環境部門と調整をしながら、どういう文言がいいかということで検討したいと思います。

二つ目については、そういう誤解を招くような書き方があるということであればなおさら検討してみたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(北原議長)

どうもありがとうございます。他にいかがでしょうか。

事務局、今日議論してパブコメに行くわけですけど、家に帰って思いついたとかで、ちょっと1週間後とかというのはありなんですか。どのぐらいまで、そういうのを可能なんでしょうか。

(赤城次長)

もちろん、今すぐじゃなくてももちろんご自宅に持って帰られて、もう一度読んでもらって、返事はいいと思います。あんまり時間ないので、来週いっぱいぐらいまでにメールや電話でも構いませんのでいただけると助かります。よろしく願いいたします。

(北原議長)

はい。ということですので、持ち帰っていただいてもう一度気がつかれた点があれば、来週いっぱい、事務局の方にご連絡をいただければ、また検討対象にさせていただけるということですのでよろしく申し上げます。

それでは、八千代市都市マスタープラン（素案）については、ただいまいただきましたご意見を事務局で整理していただいて、それを踏まえて今後パブリックコメントを進めていただくということでしょうか。

－（異議なしの声）－

(北原議長)

ありがとうございます。それでは事務局でご意見を整理し、それを踏まえて、都市マスタープラン素案の検討を進めていただきたいと思います。

続いて、先へ進んでしまいますが、次第のその他について事務局から何かございますか。

(赤城次長)

本日は貴重なご意見をいただきありがとうございます。

素案につきましては本日で確定ということではなく、今後パブリックコメントを実施する中でも、また修正が必要となることもございますので、委員の皆様におかれましても、何かお気づきの点などがございましたら、先ほど話したように、パブリックコメントの前であれば、来週中、そのあとパブリックコメントの中でももちろん構いませんので、事務局までご連絡等いただければと思います。

それではその他といたしまして、次回の策定会議についてお知らせいたします。次回の会議では、パブリックコメントの結果につきまして、ご報告をさせていただくとともに、都市マスタープラン（案）として取りまとめ、お示しさせていただきたいと考えており、6月頃の開催を予定しております。

日時の詳細につきましては皆様のご都合や、会場について調整をさせていただき、決定させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

事務局からは以上となります。

(北原議長)

ありがとうございます。それではこれで第6回八千代市都市マスタープラン策定会議を終了いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただき、議事の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

－閉会（午後2時06分）－

－以上－